



新年のご挨拶

西日本プラスチック工業健康保険組合
理事長 山田 浩



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

組合員の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

また、平素より当健康保険組合の事業運営に格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年末の役員改選におきまして、理事の皆様方のご推挙により、第9代目理事長に就任いたしました。

健康保険組合を取り巻く情勢が大変厳しい時期に理事長を仰せつかることとなり、その重責に身の引き締まる思いであります。

組合員の皆様にはこれまで同様のご支援、ご協力をお願い申し上げる次第です。

さて、平成29年度当健康保険組合におきましては、経常収支では、昨年引き続き黒字とはいかず、まだまだ厳しい状況ではございますが、経常外収支では3年連続で黒字決算が見込まれます。主な要因は、被保険者の所得が改善したことと介護保険の算出方法の変更により納付金の伸びが鈍化したことに拠ります。

今年度も減税措置等で政府が後押しする賃上げが各企業で実施されれば保険料収入の増加が見込まれますが、一方で昨今の医療の高度化、団塊世代の高齢化に伴う医療費の増加等、医療費自体の増加も避けられない状況です。

また、長い目で見れば2025年には75歳以上の後期高齢者が2,200万人となり、4人に1人が後期高齢者となるため、ますます高齢者医療費が増大することが容易に予測できます。

このような状況の下、当健康保険組合としては、更なる財政改善を進めるために効率的な事業運営を図るとともに、加入者の皆様の疾病予防や早期発見、健康づくりを支援する保健事業を充実させ、皆様の健康を支える健全な健康保険組合を目指して業務にまい進する所存ですので、今年も引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、加入者の皆様方のますますのご健康を祈念して新年と就任のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

